

平成27年度関東倶楽部対抗千葉第2会場予選競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 21倶楽部 ・ 168名)

期日：5月18日(月)

場所：ゴルフ倶楽部成田ハイツリー

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	石井 登	我孫子	藤本 譽	姉ヶ崎	原 篤	紫	金田 昌樹	木更津
2	7:39	森 清成	トーヨー	小林 裕夫	中山	和田 博之	コスモクラシック	池田 倫彦	クリアビュー
3	7:48	武藤 秀敏	佐原	横田 和彦	本千葉	西野 耕一郎	立野クラシック	森本 信行	ザ・ジャパン
4	7:57	石川 由春	勝浦	齋藤 元志郎	真名	舘野 光夫	グレンオークス	市橋 義臣	鎌ヶ谷
5	8:06	古川 孝蔵	上総モナーク	石井 博久	エンゼル	若菜 茂	千葉国際	平山 格	成田ハイツリー
6	8:15	柴崎 充雅	レインボーヒルズ	前田 礼太	我孫子	倉橋 公二	紫	糸日谷 栄作	トーヨー
7	8:24	首藤 政博	コスモクラシック	細根 勉	佐原	川邊 悦史	立野クラシック	相川 義明	勝浦
8	8:33	深澤 一三	グレンオークス	清川 正治	上総モナーク	川合 憲一	千葉国際	早船 静四郎	レインボーヒルズ
9	8:42	杉山 伸一郎	姉ヶ崎	佐藤 正	木更津	片山 正八	中山	永井 明	クリアビュー
10	8:51	石川 誠次	本千葉	井上 武根	ザ・ジャパン	齋藤 方誉	真名	新野田 勉	鎌ヶ谷
11	9:00	松元 正秀	エンゼル	八木 伸二	成田ハイツリー	糟谷 治男	我孫子	工藤 洋史	木更津
12	9:09	米田 辿	コスモクラシック	老山 健	本千葉	土屋 榮次	勝浦	鶴巻 日出雄	鎌ヶ谷
13	9:18	篠崎 州央	千葉国際	佐久間 義雄	姉ヶ崎	君和田 昭	トーヨー	野口 勇	クリアビュー
14	9:27	中村 義之	立野クラシック	櫻井 聖士	真名	大内 豊	上総モナーク	延田 政弘	成田ハイツリー
15	9:36	青木 正之	紫	吉野 健治	中山	金井 勝	佐原	坂井 正行	ザ・ジャパン
16	9:45	辰岡 宣昭	グレンオークス	川畑 和人	エンゼル	吉原 富雄	レインボーヒルズ	土屋 博義	我孫子
17	9:54	庭田 邦明	トーヨー	石原 裕士	佐原	植村 正文	勝浦	窪田 直利	上総モナーク
18	10:03	藤井 孝夫	成田ハイツリー	山本 浩一郎	姉ヶ崎	田中 順一	中山	吉田 潔	本千葉
19	10:12	杉田 光	真名	高田 次男	エンゼル	南部 正敬	紫	前田 英美	コスモクラシック
20	10:21	杉木 和彦	立野クラシック	田中 武美	グレンオークス	若山 健治	千葉国際	相田 昌樹	木更津
21	10:30	工藤 鈴夫	クリアビュー	坂口 裕志	ザ・ジャパン	山内 清	鎌ヶ谷	永井 四郎	レインボーヒルズ

10番よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
22	7:30	小林 宏輔	我孫子	寺田 憲児	中山	遠藤 直樹	立野クラシック	山口 祐介	鎌ヶ谷
23	7:39	永井 耕一	レインボーヒルズ	堀口 勝巳	姉ヶ崎	斉藤 章	コスモクラシック	藤原 純二	ザ・ジャパン
24	7:48	片岡 弘幸	上総モナーク	眞々田 恒久	紫	濱部 浩一	クリアビュー	辻 正和	勝浦
25	7:57	野澤 稔	エンゼル	羽田 光男	木更津	高橋 秀和	佐原	倉島 保一	真名
26	8:06	牧長 一喜	千葉国際	福原 文夫	トーヨー	山本 次郎	本千葉	宮下 宜嗣	グレンオークス
27	8:15	佐藤 文友	成田ハイツリー	根津 訓光	我孫子	前田 修	コスモクラシック	渡辺 保	勝浦
28	8:24	中村 英明	千葉国際	堀内 和昭	姉ヶ崎	平野 健一	クリアビュー	木村 勝巳	真名
29	8:33	齋藤 恭正	成田ハイツリー	茂木 悦也	紫	金子 信一	佐原	森本 正博	グレンオークス
30	8:42	伊勢 直史	レインボーヒルズ	柳本 隆之	木更津	木村 圭吾	本千葉	尾上 良明	鎌ヶ谷
31	8:51	鈴木 幹雄	トーヨー	山野 純也	立野クラシック	堀井 慎也	上総モナーク	小林 正幸	中山
32	9:00	谷本 俊雄	ザ・ジャパン	岡本 好作	エンゼル	海老原 寿人	我孫子	佐々木 厚史	クリアビュー
33	9:09	片岡 正治	グレンオークス	石山 博明	姉ヶ崎	及川 久二	佐原	加藤 靖司	鎌ヶ谷
34	9:18	新井 健一	紫	永松 由行	本千葉	江利川 吾郎	上総モナーク	町田 吉太郎	木更津
35	9:27	鶴薗 弘明	立野クラシック	菊池 光晃	エンゼル	久保田 慎	トーヨー	堀江 裕明	ザ・ジャパン
36	9:36	谷村 朋昭	中山	有馬 昌宏	千葉国際	清水 利和	勝浦	大石 哲	成田ハイツリー
37	9:45	相馬 賢一	コスモクラシック	長島 洋介	真名	瀬戸 隆之	レインボーヒルズ	川上 恭弘	我孫子
38	9:54	弦巻 孝訓	佐原	石田 哲次郎	上総モナーク	齋藤 芳英	姉ヶ崎	杉村 素澄	本千葉
39	10:03	玉川 二男	エンゼル	平野 豪	紫	江藤 征弘	立野クラシック	野代 雅樹	千葉国際
40	10:12	務台 英雄	木更津	三橋 正典	ザ・ジャパン	彦坂 裕一	成田ハイツリー	榊田 光洋	トーヨー
41	10:21	山田 伸吾	勝浦	鯨岡 裕晃	レインボーヒルズ	前田 信吾	中山	寺尾 聖一郎	真名
42	10:30	佐藤 光介	コスモクラシック	池田 匡之	グレンオークス	假屋 慎治	クリアビュー	植草 豊治	鎌ヶ谷

競技委員長 大木隆

平成 27 年度 関東倶楽部対抗千葉第 2 会場予選競技

開 催 日 : 5 月 18 日(月)

開催コース: ゴルフ倶楽部成田ハイソリー

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
3. 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。
(a) パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。
4. 動かさない障害物(規則 24-2)
(a) 排水溝
(b) 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
(c) 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
5. コースと不可分の部分
(a) 樹木やその他の恒久的な物件に巻きつけたり、密着させてあるもの。
(b) ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。
6. 電磁誘導カート用の 2 本のレール
電磁誘導カート用の 2 本のレールは、全幅をもってプレー禁止の修理地とする。
7. 高圧送電線
17 番ホールにおいて、球が高圧送電線に当たった場合は、そのストロークを取り消し、ゴルフ規則 20-5 にしたがって罰なしに再プレーしなければならない。その球をすぐには取り戻せない場合は、別の球に取り替えることができる。

距離表

HoleNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
AクラスYards	500	403	391	164	373	516	392	143	392	3274
BクラスYards	525	421	421	191	399	536	422	174	415	3504
Par	5	4	4	3	4	5	4	3	4	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
492	354	394	351	325	183	496	179	353	3127	6401
521	400	406	396	368	183	547	191	375	3387	6891
5	4	4	4	4	3	5	3	4	36	72

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

(a)『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(C)1a』を適用する(ゴルフ規則 174 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(C)1b』を適用する(ゴルフ規則 175 ページ参照)。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b、c、d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間にいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。

険悪な気象状況による即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(C)5b』(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(C)2』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

9. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。
3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 8 コインを限度とする。

競技委員長 大木隆